

第6学年「てつがく」学習指導案

授業者 草野 健

2月22日(木) 2階プレイルーム 9:00~9:40

1 題材名(単元名) 協同してつくるてつがく (思い出)

2 考える価値内容 自己/他者

3 単元について

小学校卒業を間近に控えた子どもたちの中には「思い出」づくりを重視している子もいれば、「思い出」は特に必要ないと考えている子もいるように見える。そのような中で、3学期のてつがくで話し合いたいことの中に、「誰の思い出話が一番面白いか」というものがあった。そこで、この「思い出」に着目して「思い出」の価値を中心にてつがく対話を行うことで小学校生活を振り返るとともに新しい中学校生活への期待と希望を徐々に持たせたいと考えた。

子どもたちとてつがくの学習を進めていく上で、1つの型を提案したい。それは、

①一人一人の考えを表出させる→②小グループで話し合う→③全体で共有→④個で振り返るである。6年生になると意見を述べる子と述べない子がはっきりとする。意見を述べる子にとっては、いろいろな人の意見を聞きたいために、意見を述べない子の態度がもどかしいようである。意見を述べなくても書いてみる、表情に表してみる、行動で示すなどの方法で考えを表出させる方法もあることを伝えた。

また、6年生になると抽象的な考えができるようになり、話し合いでも具体がない抽象論が行き交う場面を多く見かけた。そこで、抽象と具体が行き交うような教師の声掛けを意識したい。

4 学習指導計画(5時間目/全7時間)

「ひとりてつがく」で自分の小学校での思い出をノートに表出させる	…1時間
小グループで思い出について話し合ってみる	…1時間
思い出を分類してみる	…1時間
分類してわかることを基に話し合いたいことを挙げてみる	…1時間
小グループでの話し合う、全体で共有する	…2時間(本時)
単元で考えたことを個人で振り返る	…1時間

5 本時について

(1) 本時のねらい

小グループで話し合ったことの報告と意見の交換から、自分の考えを表出させることができる。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と予想される子どもの姿	留意点
1 前時に小グループで話し合った内容を報告する。	○話し合った記録を掲示する。
2 報告を聞いて意見の交換を行う。	○質問や自分の考えを交換する際は、教師が抽象と具体が行き交うような声掛けを行う。
3 報告と意見の交換から共通理解となりそうなことを挙げてみる。	○あくまでも、この時点での共通理解であることを伝える。
4 本時の学習感想をノートに書く。	